

# 2013年3月期 決算説明会



2013年5月28日

株式  
会社 **朝日ラバー**

# 2013年3月期決算説明資料 目次

## I. 2013年3月期決算実績

1. 連結決算実績（前期比較）	2
2. 四半期会計期間の連結売上高・営業利益	3
3. 連結セグメント別実績（前期比較）	4
4. 主要製品実績－ASA COLOR LED、スポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品	5～7
5. 単体損益実績（前期比較）	8
6. 連結子会社の損益実績（前期比較）	9
7. 連結貸借対照表の状況	10
8. 連結キャッシュフロー実績	11

## II. 2014年3月期決算見通し

1. 連結損益見通し（前期比較、セグメント別）	13
2. 連結設備投資計画（前期比較）	14
3. 配当実績と計画	15

## III. 中期経営計画の進捗

1. 中期経営計画概要	16
2. 業績目標推移	17
3. 事業戦略（事業別連結売上高）	18
4. 事業戦略（販売戦略）	19～20
5. 設備投資	21
6. 次期中期経営計画の策定に向けて	22

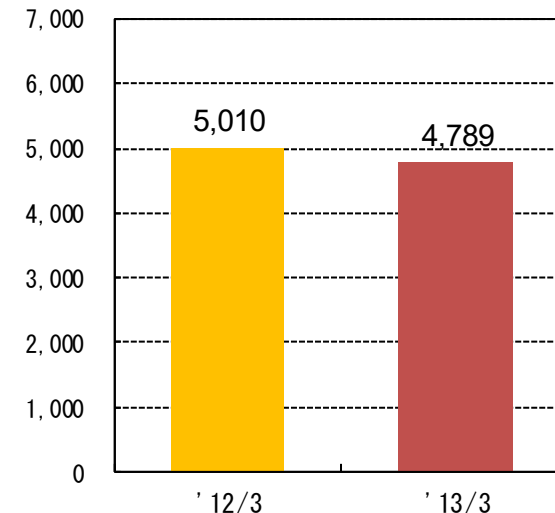
# I - 1. 連結決算実績

(単位:百万円、%)

	2012年3月期		2013年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
売上高	5,010	100.0	4,789	100.0	▲4.4
売上総利益	1,362	27.2	1,275	26.6	▲6.4
営業利益	243	4.9	135	2.8	▲44.3
経常利益	211	4.2	139	2.9	▲34.0
当期純利益	72	1.5	76	1.6	5.4

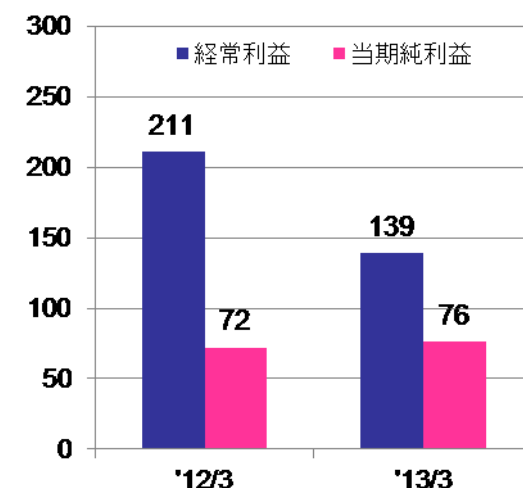
(単位:百万円)

連結売上高実績



(単位:百万円)

連結利益実績

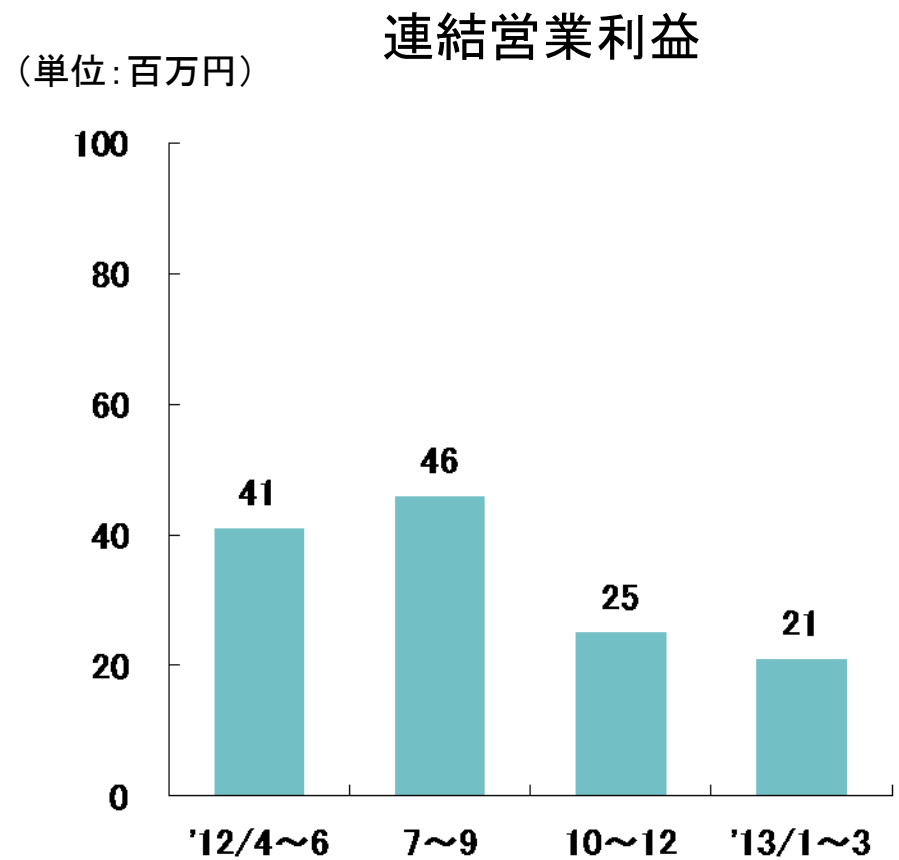
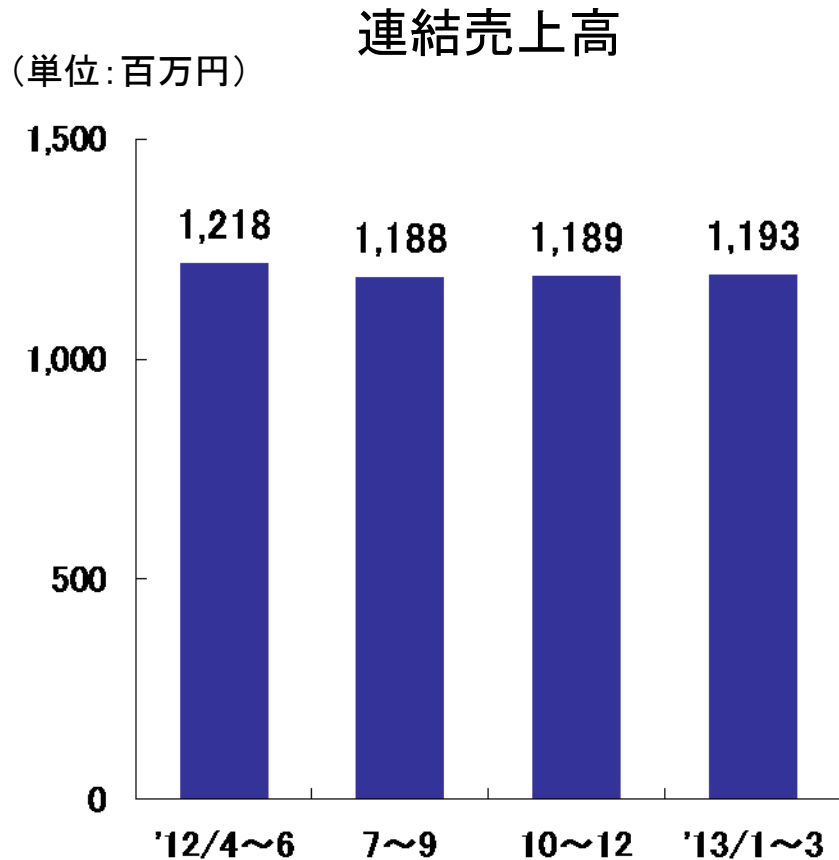


- 自動車向け製品の受注が伸びたものの、スポーツ用ゴム製品と医療用ゴム製品の受注が減少し減収減益。

設備投資額 410百万円

減価償却費 371百万円

# I-2. 四半期会計期間の連結売上高・営業利益



- 自動車関連製品はエコカー補助金の打撃、下流の部品関連の影響を免れたものの、ASA COLOR LEDの受注増加で堅調に推移。
- スポーツ用ゴム製品と医療用ゴム製品の受注が顧客の在庫調整により大幅に減少。

# I - 3. 連結セグメント別実績

(単位:百万円、%)

売上高	2012年3月期		2013年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	3,812	76.1	3,794	79.2	▲0.5
医療・衛生用ゴム事業	1,198	23.9	995	20.8	▲16.9
<b>売上高合計</b>	<b>5,010</b>	<b>100.0</b>	<b>4,789</b>	<b>100.0</b>	<b>▲4.4</b>

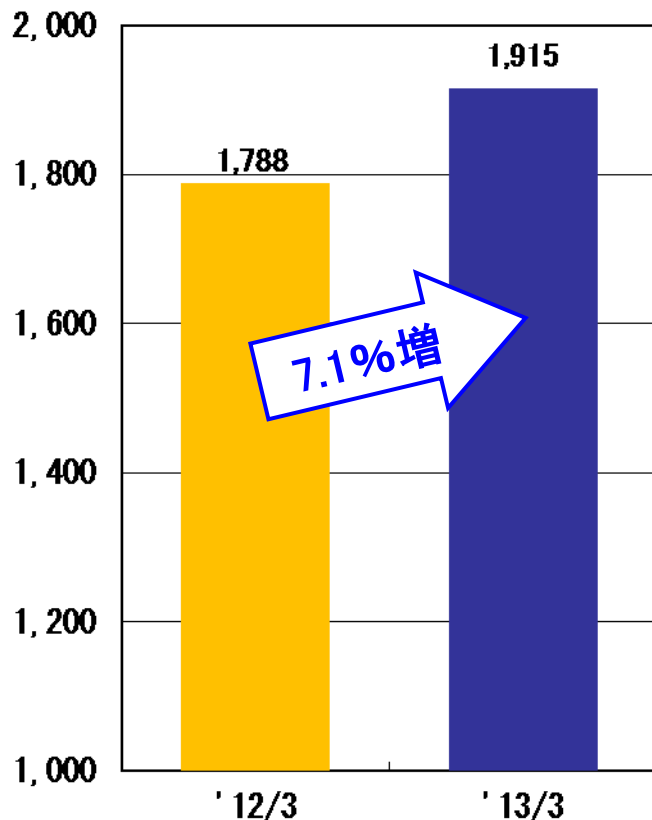
(単位:百万円、%)

セグメント利益	2012年3月期		2013年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	263	56.0	295	77.8	12.1
医療・衛生用ゴム事業	206	44.0	84	22.2	▲59.2
<b>セグメント利益合計</b>	<b>470</b>	<b>100.0</b>	<b>379</b>	<b>100.0</b>	<b>▲19.2</b>

●比較的收益性の高い医療用ゴム製品の受注減少により、セグメント利益が減少。

# I-4. 主要製品実績—ASA COLOR LED

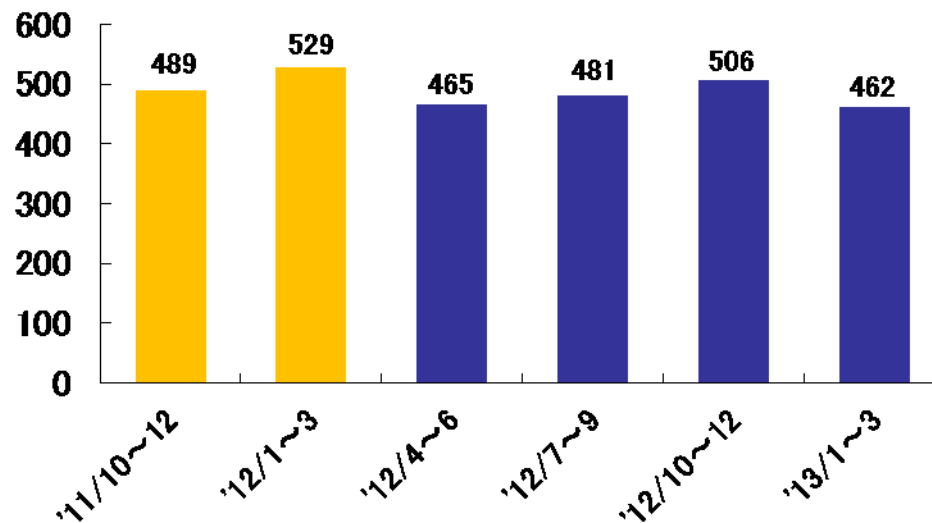
(単位:百万円) 連結売上高推移



## ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。

(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移

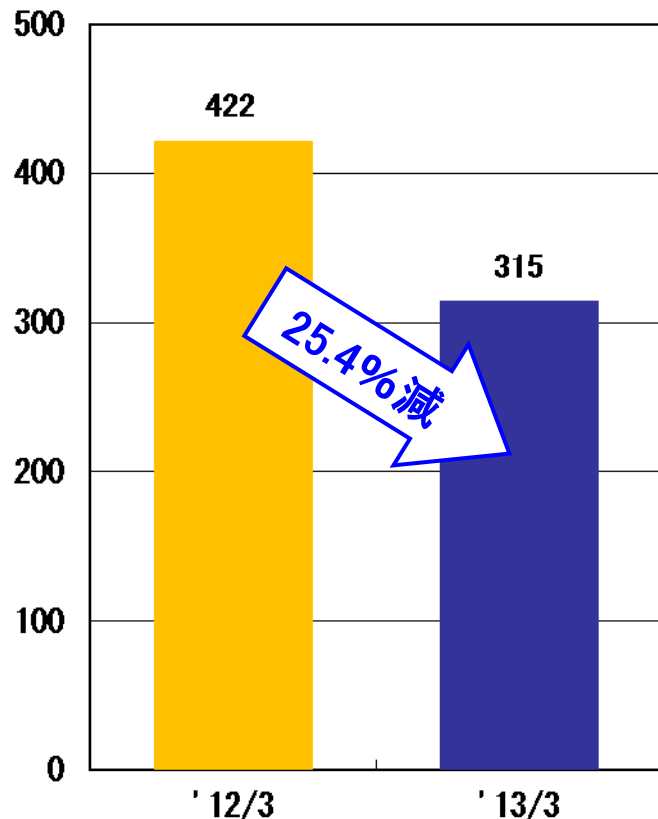


●北米向けの受注が堅調に推移。

# I-4. 主要製品実績－スポーツ用ゴム製品

(単位:百万円)

### 連結売上高推移



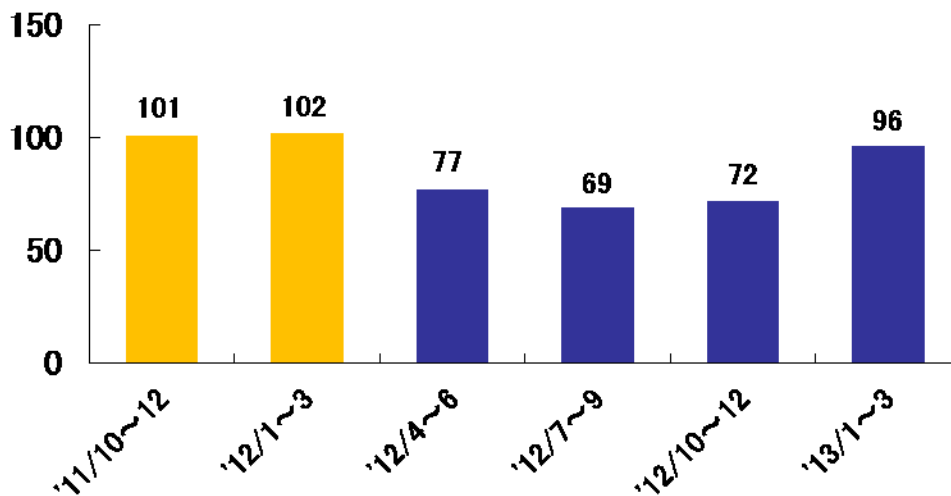
## 卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位:百万円)

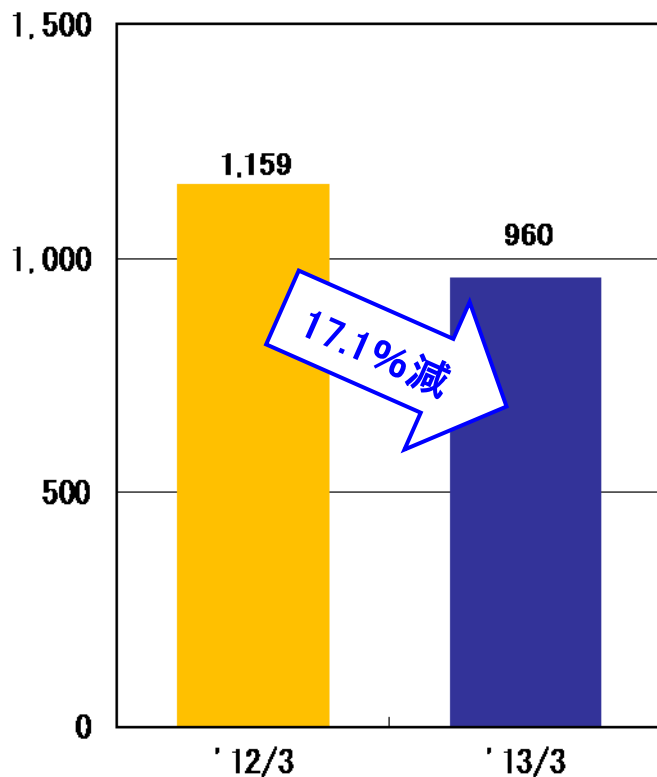
### 四半期会計期間の売上高推移



●顧客の在庫調整で受注が減少するも回復傾向。

# I-4. 主要製品実績－医療用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移

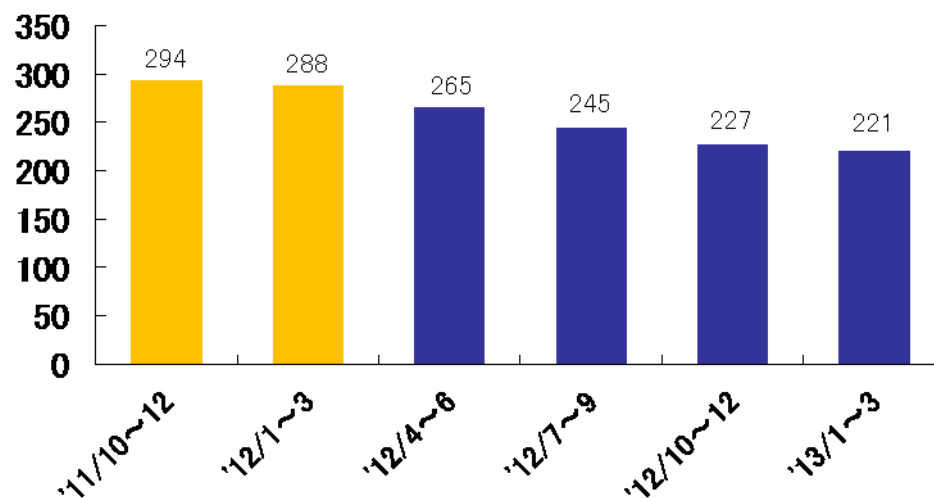


## ディスポーザブル用ゴム製品

点滴輸液バッグ用ゴム栓や真空採血管用ゴム栓、プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)向けガスケットなど、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。

四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



●顧客の在庫調整により受注が減少。'13/4月以降は回復傾向にある。

# I - 5. 単体損益実績

(単位:百万円、%)

	2012年3月期		2013年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
売上高	4,892	100.0	4,634	100.0	▲5.3
売上総利益	1,290	26.4	1,123	24.3	▲12.9
営業利益	250	5.1	91	2.0	▲63.4
経常利益	228	4.7	115	2.5	▲49.4
当期純利益	105	2.1	53	1.2	▲49.0

- 自動車向け製品の受注が堅調に推移したが、スポーツ用ゴム製品と医療用ゴム製品の在庫調整で受注が減少し売上減。
- 比較的収益性の高いスポーツ用ゴム製品と医療用ゴム製品の売上減の影響で各利益が減少。

# I - 6. 連結子会社の損益実績

(単位：千円)

	株式会社朝日FR研究所		ARI INTERNATIONAL Corp.	
設立	1987年4月		1999年6月	
資本金	10,000,000円		200,000米ドル	
業務内容	ゴム・プラスチック等に関する研究		工業用ゴム製品の販売	
研究収入／売上高	100,861	前期増減率	150,180	前期増減率
		2.2%		▲6.9%
経常利益	5,939	▲70.4%	534	▲92.3%
当期純利益	3,144	▲74.0%	431	▲90.2%

円換算レート：1米ドル80.11円

	朝日橡膠(香港)有限公司		東莞朝日精密橡膠制品有限公司		朝日科技(上海)有限公司	
設立	2005年11月		2010年7月		2012年1月	
資本金	19,700,000香港ドル		17,551,530人民元		50,000,000円	
業務内容	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の製造・販売		工業用ゴム製品の開発、設計、販売	
売上高	240,218	前期増減率	286,779	前期増減率	1,132	前期増減率
		10.2%		61.2%		-
経常利益	16,725	-	16,372	-	▲9,408	-
当期純利益	16,725	-	19,561	-	▲9,408	-

円換算レート：1香港ドル10.33円

円換算レート：1人民元12.72円

円換算レート：1人民元12.72円

# I - 7. 連結貸借対照表の状況

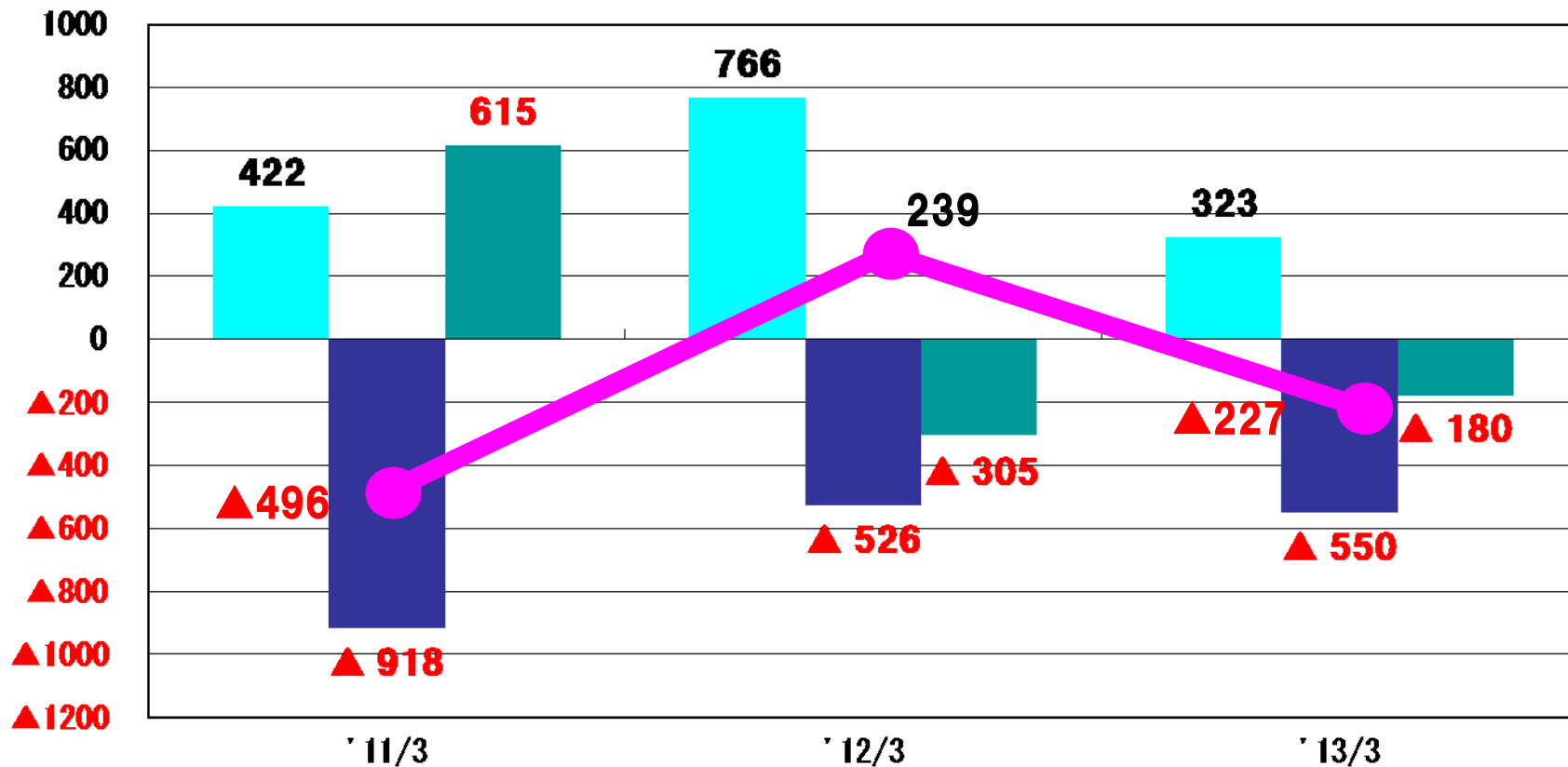
(単位:百万円)

	2012年 3月末残高	2013年 3月末残高	差	主な変動理由
流動資産	3,907	3,582	▲325	現金及び預金が減少
固定資産	3,839	3,928	88	機械装置及び運搬具が増加
繰延資産	11	6	▲5	
資産合計	7,758	7,517	▲241	
流動負債	2,438	2,180	▲258	支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少
固定負債	2,459	2,371	▲88	長期借入金が減少
負債合計	4,897	4,551	▲346	
純資産合計	2,861	2,965	104	
負債純資産合計	7,758	7,517	▲241	

# I-8. 連結キャッシュフロー実績

(単位:百万円)

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF



— フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

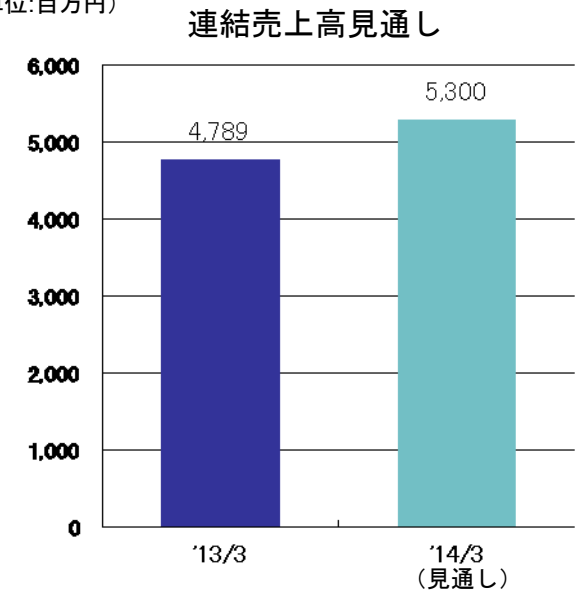
Ⅱ. 2014年3月期決算見通し

Ⅲ. 中期経営計画の進捗

# Ⅱ－1. 2014年3月期連結決算見通し(前期比)

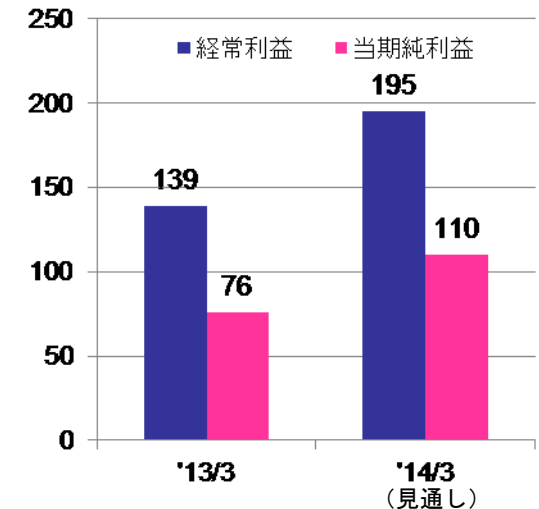
(単位:百万円、%) (単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	4,789	100.0	5,300	100.0	10.7
売上総利益	1,275	26.6	1,430	27.0	12.1
営業利益	135	2.8	250	4.7	84.5
経常利益	139	2.9	195	3.7	39.8
当期純利益	76	1.6	110	2.1	43.3



(単位:百万円)

連結利益見通し



(単位:百万円、%)

セグメント別	2013年3月期		2014年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	3,794	79.2	4,170	78.7	9.9
医療・衛生用ゴム事業	995	20.8	1,130	21.3	13.5
売上高	4,789	100.0	5,300	100.0	10.7

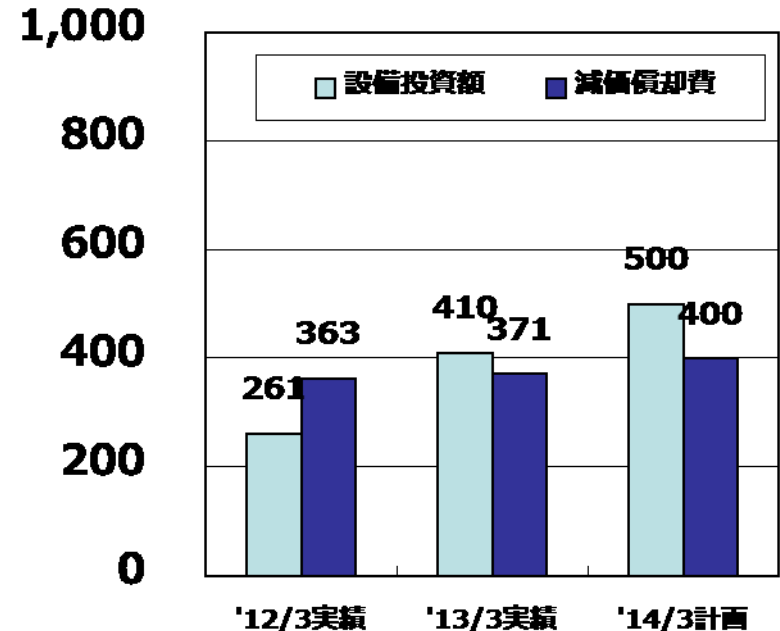
# Ⅱ－2. 2014年3月期連結設備投資計画

## 設備投資金額 約500百万円

減価償却費 400百万円

事業分野別設備投資内訳	
照明関連事業	50百万円
医療関連事業	190百万円
機能製品関連事業	260百万円

(単位:百万円)



### 法人・分野別設備投資内訳

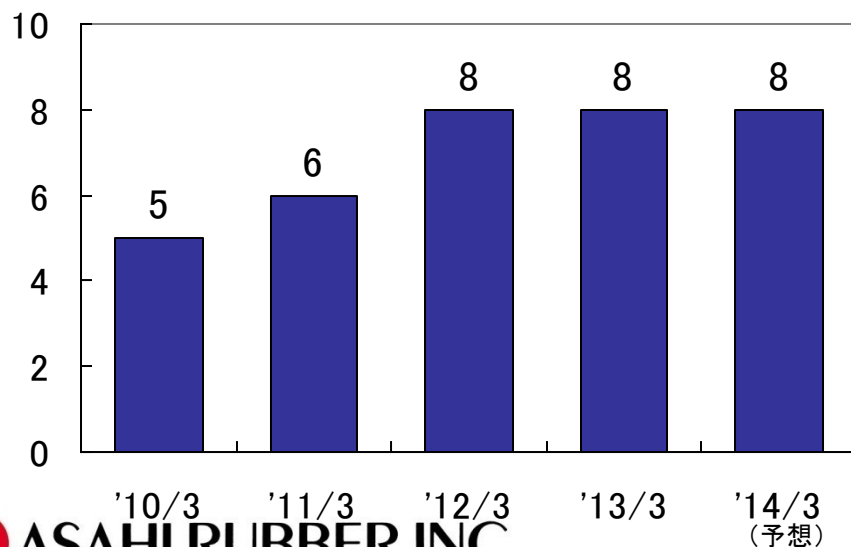
朝日ラバー	440百万円	照明・医療・機能製品
東莞朝日精密橡膠制品	50百万円	機能製品

## Ⅱ－3. 2013年3月期配当実績と計画

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
中間配当	3円	3円	3円(予想)
期末配当	5円	5円	5円(予想)
年間	8円	8円	8円(予想)

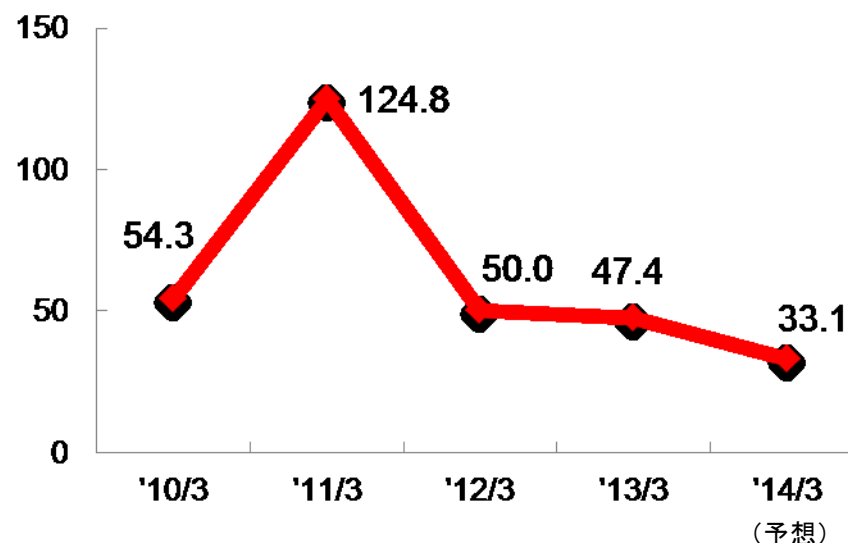
(単位:円)

一株当たり配当金推移

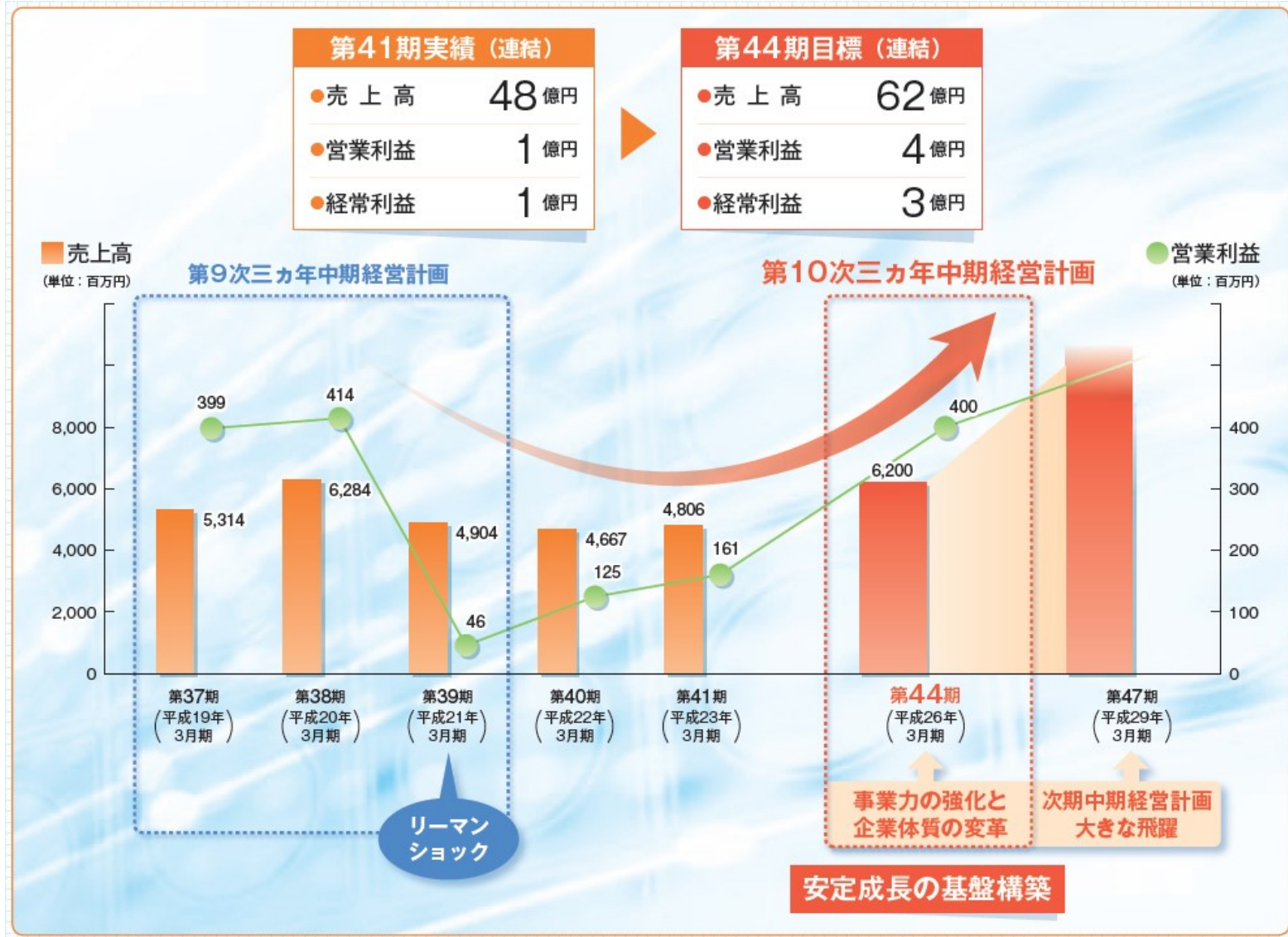


(単位:%)

連結配当性向推移



# Ⅲ－1. 中期経営計画概要



# Ⅲ－2. 中期経営計画－業績目標推移

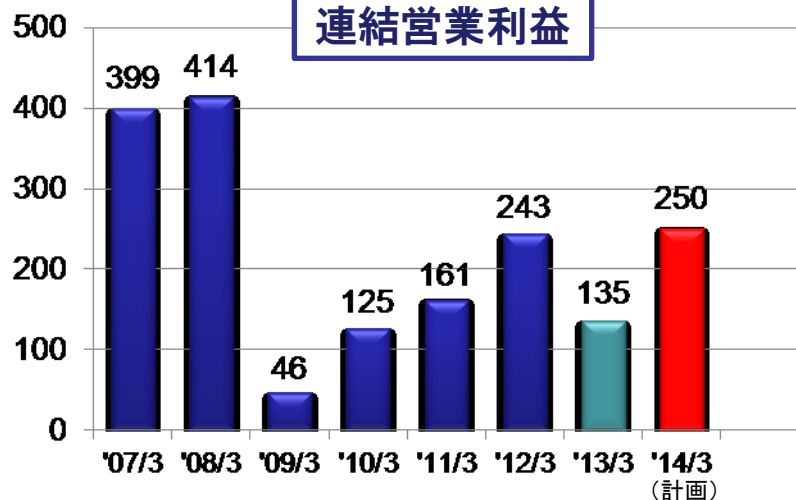
(単位: 億円)

連結売上高



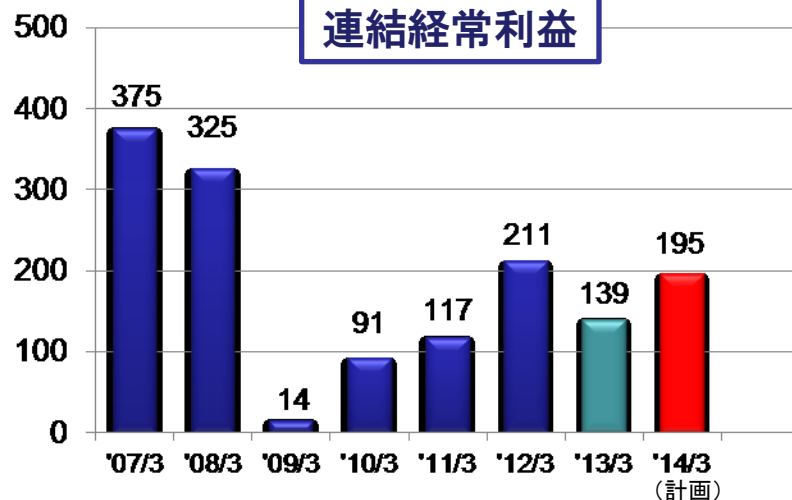
(単位: 百万円)

連結営業利益



(単位: 百万円)

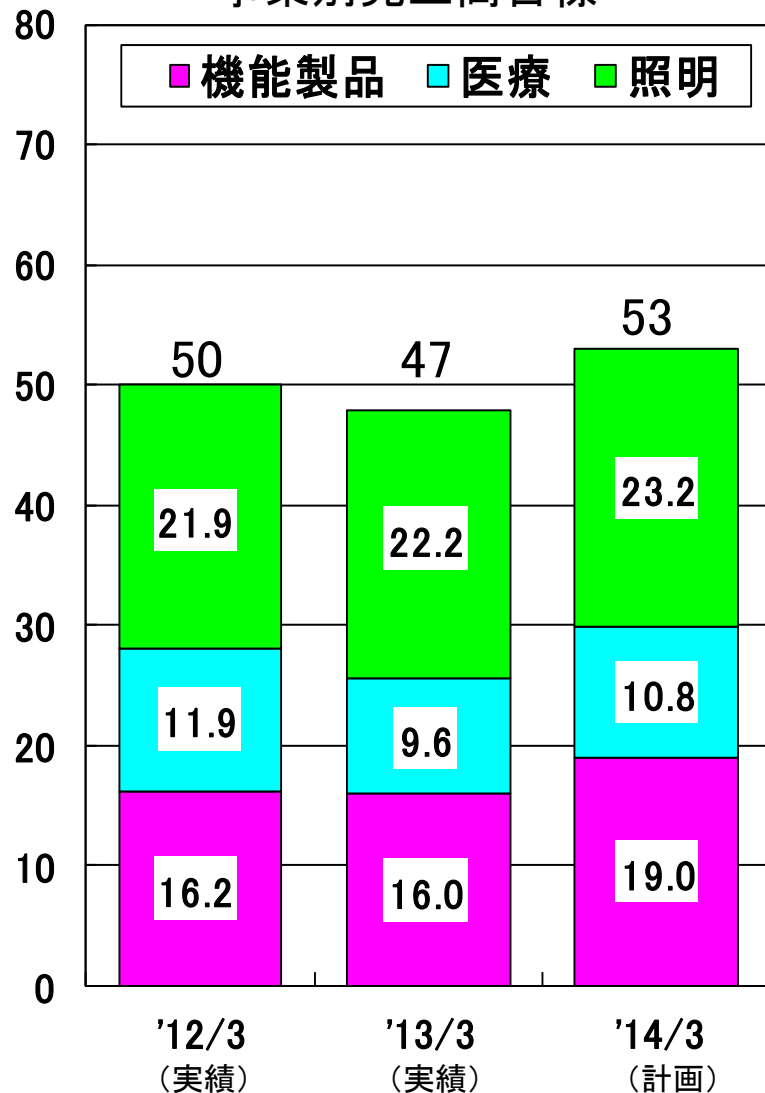
連結経常利益



# Ⅲ－3. 事業戦略－事業別連結売上高

(単位:億円)

事業別売上高目標



照明関連事業 目標売上高27億円

今期計画 23.2億円

- ✓ 車載向けLED製品は堅調に推移
- ✓ 照明向けLED製品、LED関連部材の量産立上げ遅れ

医療関連事業 目標売上高12億円

今期計画 10.8億円

- ✓ 初年度は大きく売上げを伸ばしたものの、顧客の在庫調整により受注が減少

機能製品関連事業 目標売上高23億円

今期計画 19.0億円

- ✓ 新規製品の量産立上げ遅れ

# Ⅲ－4. 事業戦略－販売戦略

## 照明関連事業

### ● 車載市場を取り巻く環境の変化と対応

- ・タッチパネル化 → LEDの均一・高輝度化  
ニーズ拡大  
デザインの多様化
- ・パネルのワイド化 → LEDの小型化
- ・スマートフォンリンク → ナビゲーションの減少
- ・台湾、韓国、中国のLEDメーカーの台頭 → 低コスト化

- ・車載用新タイプLED  
開発・投入による用途開発・拡売
- ・車載向け複合製品・シリコン部材の  
トータル提案・拡売
- ・製品・価格対応力強化

### ● 照明市場への拡売

- ・超高級照明分野への拡売 → 低色温度、カスタム色・演色性領域
- ・シリコン耐性が発揮できる用途への拡売  
→ 自動車用灯具、屋外・街路灯用、紫外線・赤外線装置・デバイス用など

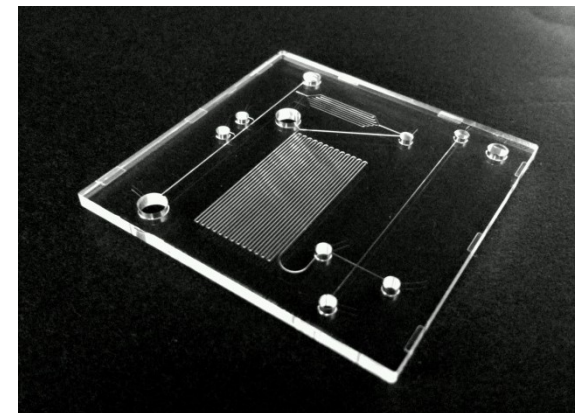
# Ⅲ－4. 事業戦略－販売戦略

## 医療関連事業

- 新規製品の量産立上げ(下期)による売上げ寄与
- 薬品対応力を向上する材料・表面改質技術の深掘し、新製品の適用範囲の拡大へ
- 事業部制で顧客連携強化と事業計画の策定

## 機能製品関連事業

- RFIDタグ用ゴム製品の増産・価格対応力強化
- マイクロTAS製品の量産化スタート



## Ⅲ－5. 設備投資

### 3ヶ年設備投資累計 中期計画16億円

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 計画	3ヶ年 累計
照明関連事業	110	60	50	220
医療関連事業	55	205	190	450
機能製品関連 事業	95	145	260	500
合計	260	410	500	1,170

## Ⅲ－6. 次期中期経営計画の策定に向けて

### 最重要課題：成長のための経営基盤の整備と確立

- **顧客基盤**                      お客様の信頼を得る(密着、提案)
- **ものづくり基盤**            国内外生産体制の整備と原価低減
- **研究開発基盤**              新製品・新技術を生み出す底力と仕組み
- **品質基盤**                      グローバル品質保証体制の強化
- **人事基盤**                      企業が中長期的に成長するための  
人事制度の確立

# お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先  
株式会社朝日ラバー 管理本部人事総務グループ  
TEL 048-650-6056